



コミュニティ しずおか

2017
10月
No.148



茶の実油の明かりでにぎわいを 菊川の里ごりやくの会 (島田市)

▼お茶には「味を楽しむ、作法を楽しむ、景色を見て楽しむ」などがあるが、地域ににぎわいをつくらうと、茶の実油で「魅せる楽しみ」を紹介する「第3回茶の実オイル・あかりアートin菊川の里」が島田市菊川の里会館で8月に開催された。

▼準備は11月の茶の実拾いから始まり、茶の実油採取のために半年程度乾燥させた後、公民館に集合しハンマーやペンチで外側の殻を割り実を取り出し圧搾機にかける。茶の実油は実の量の1/10位しか採れないので、必要な約2ℓの油を採油するまで約1ヶ月以上かかった。単純でつまらない作業も、皆で世間話をしながら行えばまた楽しい。

▼採取した油は、手作りの竹行燈108個に灯され、優しく周囲を照らし好評だった反面、行燈の芯が事前テストより早く燃え尽き点灯時間が短くなるなど課題も見えた。

会では、多くの人を呼び込むために、皆で考え笑って汗して工夫して、年々進化するイベントを目指している。

※他団体とのコラボレーションを希望しています!!

◇代表:望月裕子さん(問合せ・090-6769-4453)【情報提供・北川 明】

Topics トピックス

クローズアップP2

親子と地域を「遊び」でつなぐ
かるがもレスキュー(静岡県)

地域訪問記P6

「おやし」でなければできない活動を
追求する集団(菊川市)



「リミック」
のじゅき・りえ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。

クローズアップ



かるがも
レスキュー
(静岡市)

親子と地域 を「遊び」で つなぐ

今回おじゃましたのは静岡市葵区の『かるがもレスキュー』。「かるがも」は言わずと知れた愛情深く子育てをするカモのことで、人の母親と子になぞらえての命名。その「かるがも」を助けるという絶妙なネーミングである。この会の代表である高田さんと^{うつぼや}鞠矢さん、西村さん、鈴木さんにお話を伺った。4人とも小さい子どもを持つお母さんである。

「かるがもレスキュー」誕生

4年前、幼稚園入園前の3歳の幼児を持つ高田さんは、「ママをしながらも社会とつながりを持ちたい」という思いを抱えていたところ、木工細工を得意とした通称「とんちゃん」と出逢った。その縁が高田さんを突き動かし「かるがも親子講座（木のおもちゃ作り）」をまず

立ち上げた。続いて子育てや介護に一段落した女性による「エココおばさんの親子料理講座」を知縁、地縁でつながりを築いていったのだった。しばらく企画運営を一人で奮闘していたが、講座の参加者でもあった同じ幼稚園に通うお母さんに気づきスカウト。企画の相談など同じ視点を持ち、何でも言い合える仲間の存在が何よりも心の支えとなっていった。

現在はさらに活動を広げ、『かるがも子ども広場の定期プログラム』として伝統文化である生け花を親子で親しむ「おはなであそぼう」、未就園児対象の「わらべうたとふれあい遊び」。幼児・小学生対象の『うしづま冒険あそび場』は知縁者から場所を借りて、自然体験ができる環境を作っている。また、静岡市生涯学習センターとの共催で立ち上げの時から講座（木のおもちゃ作り、親子料理講座）も継続して開催している。

無いものは自分でつくる

その原動力は何だろう?ただ単に子育て支援活動をしているという訳ではない。それは従来の子育て支援活動は子育て中の“お母さんのため”のものはあっても、“親子”で同時に楽しめる活動が無い実感があつた。無いなら自分のニーズに合わせたものを作ってしまえ!という潔さ。それは自分の子どもの成長に合わせて少しずつ範囲を広げ、子どもと汗かき笑い合い共に成長すること。

現在約30人のメンバー(うち講師10人)は『かるがもレスキュー』の利用者であり運営者で、だからこそアイデアが詰まった企画が実践されるのであろう。

いずれの取り組みも単なるお楽しみだけで終わっていない所が『かるがもレスキュー』の強みなのではないか。そこに至るまでには様々な経験からなる母親目線の安全対策への心配りがなされている。しかしそれはお仕着せのやり方ではなく、自分たちにとって参加者にとってどのやり方がベターなのか毎回の試行錯誤だという。

今後の活動については夢も膨らむが、現実的な視点も外してはいない。地域のシニア層を講師に迎えているため、将来的に講師の育成が検討課題となっている。また、現在のプログラムは公的助成金で成り立っているが、先々の安定した財政基盤になっている訳ではない。どのような運営の仕方が『かるがもレスキュー』にとって長期的に存続できるか現在進行形で模索中なのだ。

「遊び」は共育

『かるがもレスキュー』の活動にあたって「親子で参加することによって共に楽しく成長でき親の背を見せることができたこと、それが新しい自分の発見にもなった」と口をそろえる。鞠矢さんはかねがねお母さんから「子どもは遊ばなければ成長しないよ」と言われてきたことを身をもって感じていると話してくれた。多くの地域の先輩方からの言葉や行動に励まされ、「親子



エコおばさんの“かづちゃん”とピース!

共育」は遊びを通じて、親子で楽しく成長できる機会を提供しています。また、地域の先輩方からの言葉や行動に励まされ、「親子



教え方も上手な木工細工名人とんちゃん
左上:とんちゃん作“竹のクラシックカー”

は、地域社会に育ててもらっていること」を謙虚に受け止め実践する、それが『かるがもレスキュー』の今後も変わらぬやり方であろう。

※若い親子世代と

ふれあってくださる先輩方を募集しています!

◇代表:高田たまきさん
(問合せ・070-5252-4642)

【情報通信員・工藤真理子】



左から、鞠矢さん、西村さん、鈴木さん、高田さん

レポート・中村弘美 編集委員

西伊豆町

手芸で伝統文化を伝えるお手伝い

さるっ子倶楽部



左下:さるっこ

幼稚園で紐を使った腕輪づくり

▼神社にある赤いさる人形について高齢者にたずねると、旧賀茂村には地区の安全と繁栄そして豊漁を願う猿にまつわる言い伝えがあり、地区の例祭で赤い人形【さるっこ】を祀ってきたとうかがった。

そこで手芸の好きな地元の主婦仲間が集まり、さるっこのつるし飾りを奉納したところ、船山車に飾られ住民から山車が立派になったと大変喜ばれた。

▼当初、人形を町役場や商店等にPR展示していたが、最近は町内の幼稚園や小・中学校をはじめ要請があったところに出向き、布ぞうりや組みひも等、希望するものづくりに応えている。

また、西伊豆町内の小学校新一年生全員に災難が去る＝猿として安全を願い、ランドセル用のさるっこのストラップを毎年贈っている。

▼手芸などを通して地域住民に伝統文化の良さや意義をより知ってもらい、仲間づくりと共に楽しみながら伝統を継承していきたい。

◇代表:原田みさ子さん(問合せ・0558-56-0047)

【情報提供・藤井節子】

小山町

小山町案内人、知って伝えて生きがい活動

静岡おやま案内人
四季の旅人



県民の日に開催したアームレスリングを盛り上げる会員

▼小山町を愛する者が、ガイドやイベントの案内を通して町内の魅力を伝え、観光振興と地域活性化を目指そうと平成12年に発足したボランティア団体。現在会員33人で、小山町を訪れる方に町内各地のガイドを行うとともに、町事業など協力支援を行っている。

▼月1回の全体会議の他、視察研修・町内研修、勉強会を開き、会員一人ひとりが温かいおもてなしの案内ができるよう研鑽を積み「学んで知って伝える喜び」を見つけ無理をせず楽しみながら活動を行っている。

▼毎年8月には「県民の日おもてなしイベント」を開催しており、今回は歴史街道「竹之下合戦跡地を歩く」を企画し、足柄駅をスタートし後醍醐天皇の宣旨を受けた新田義貞軍と室町幕府を樹立した足利尊氏との戦いの跡地を歩いた。参加者からは、戦いの地形や歴史が学べたと好評を得たので、今後の活動につなげていきたい。最近、念願の案内用マイクを新調し、会員は益々頑張っている。

◇代表:山本章子さん(問合せ・0550-76-5000(小山町観光協会))

【情報提供・勝亦智子】

焼津市

花の香りの郷づくり

山の手未来の会



立派に育った河津桜、20年がたった

▼高草山に接する策牛、関方、方ノ上の東益津山の手地区の有志の会「山の手未来の会」は、花の香りに包まれた地域を目指し活動に励んでいる。平成8年、山の手地区に市民や観光客が訪れる魅力的な地域づくりをしようと発足した。

▼主な活動に、ろう梅の里づくりや登山道整備、のろし上げや山の手桜の管理とさくら祭りがある。特に朝比奈川に200本植え、「山の手桜」と名付けた「山の手さくら祭り」は県内外からも年々訪れる人が増え、女性会員が地場産品を販売し喜ばれている。

また、毎年11月に行う古代通信「のろし上げ」では、高草山で再現実験を続け往時の通信手段に思いをはせている。

▼地域資源を掘り起し、「花の香りの郷づくり」という一貫性を持った活動を継続するためには手間もかかるが、地域の優れた人材活用と住民への働きかけにより協力を得ながら進めている。

※11月3日(金)9時～ 高草山方ノ上城址のろし跡にて「のろし上げ」を開催します!

◇代表:山田 宏さん(問合せ・054-627-1914)

【情報提供・明本順子】



磐田市

分ければ資源、緑の地球を子どもたちへ

リサイクル倶楽部
パピルス豊岡



2カ所の会場から100kg～150kg回収する

▼前身である「女性の会」の活動をする中で、会の結束を利用し、補助金が無くとも自立して継続できる活動は何か？と模索した結果「古紙の資源回収で継続した活動ができるのでは」と思い立ち活動が始まった。その後女性の会は解散するも、志を同じくする仲間と継続し満20年を迎える。

▼市豊岡支所やJA広瀬支店の協力を得て各駐車場を会場に、上質古紙や雑紙を回収している。一番の特徴は、上質古紙や雑紙5kgを持参すると、トイレトーパー1巻きとその場で交換している事。売却収入でトイレトーパー購入や被災地支援金を送っている。また、豊岡ふれあい夏まつりに出店し活動のPRも積極的に行っている。

▼女性だけでスタートし、会員の高齢化が課題だったが、ご主人たちの協力や会の活動に賛同する若い人たちの協力も得られるようになった。今後は若い人たちがホームページを立上げ情報発信を行う予定である。

◇リサイクル倶楽部パピルス豊岡(問合せ・0539-62-4825) 【情報提供・安部詠司】

浜松市

笑顔で健康コミュニティ50年目

ほほえみ会



皿まわしに挑戦する参加者

▼浜松市浜北区にある内野上町内には、昼食会と懇談を主に講話や演芸などを通じて、楽しく愉快にひと時の安らぎを感じ、明日への生きる糧となることを目指した高齢者サロン「ほほえみ会」がある。内野上公会堂を拠点に年10回、平日の3時間程活動している。

▼昭和43年、老人クラブ「白寿会」の活動が始まりで、時代の流れを感じた現会長が、5年前に名称を変えたことで女性も参加しやすい会になった。

▼入会の年齢制限は無く出欠席も自由であること。班長さん(スタッフ)たちが1人ずつ訪問し継続の有無の確認をしていることが、会が長く続いている秘訣である。

◇代表:大村和夫さん(問合せ・053-587-8146) 【情報提供・佐藤勝彦】

地域活動情報

詳細はホームページでご覧になれます (URL <http://www.sizcom.jp>)

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨・目 的	月 日
1	東伊豆町	故郷の伝統芸能を伝え続けて	稲取り供三番叟保存会	古く平安の世から続く町指定の無形民俗芸能を伝え続ける。	6月1日から45日間 毎晩2時間の稽古
2	松崎町	レモングラス染色体験	伊豆松崎レモングラス工房	レモングラスをきっかけに地域の活性につなげる。	通年
3	三島市	市と町を越えてのはだかみこしの交流	大場自治会	祭りを守り続け住民同士の絆を深める。	平成29年7月1日(土)
4	三島市	地域とつながる夏まつり	介護老人施設 梅名の里	地域や家族とのつながりを大切にする。	平成29年8月5日(土)
5	御殿場市	子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に出入りする場	ふれんどカフェ	孤独で居場所がないと思っている人たちの居場所。	月1回 第2火曜日
6	富士宮市	日本ってどんな国?	ACC国際交流学園	日本語を学んでいる学生たちが祭りで市民との交流を図る。	平成29年8月5日(土)
7	静岡市	阿波踊りを通じて仲間づくりと社会参加	阿波踊り「静岡連」	阿波踊りを通じて地域の交流と親睦を深め地域の活性化。	慰問活動 月3回
8	島田市	町内清掃活動で明るいまちづくり	ふる里伊太を明るくする会	伊太地区住民が連携し一体となって推進する。	平成29年7月2日(日)
9	牧之原市	中部支部トーキングねっと	コミねっと牧之原地区連絡会	コミねっと中部支部会員の親睦と交流を図る。	平成29年8月20日(日)
10	御前崎市	仲間と張り合い、学んで健康	女岩区老人クラブめいろう会	社会から敬愛される老人を目標とする。	月1回
11	菊川市	みなみやま郡上おどりを楽しむ夕べ	みなみやまコミュニティ協議会 みなみやま健康郡上おどりの輪	中高年の地域デビューの機会作りと交流を目的	練習:月2回 第2、4金曜日
12	菊川市	夏休み・わいわい広場	内田地区コミュニティ協議会	親子・友達で夏休みの良い思い出をつくる。	平成29年8月6日(日)
13	掛川市	地域の活性化と伝統文化の継承	遠州行者太鼓飛鐘会	長福寺に祀られている「遠州役行者尊」その祭典での奉納演奏を目的とする。	平成29年8月20日(日) 練習:毎週水曜日
14	湖西市	地元のお祭りを中高生が企画・演出	お祭り盛り上げ隊	存続が危ぶまれる地元のお祭りを中高生が企画・演出。	平成29年10月21日(土)(宵祭り) 会議:月1回

「おやじ」でなければできない活動を追求する集団

青少年健全育成市民会議六郷支部「おやじ倶楽部」(菊川市)

JR菊川駅を降り住宅街を歩いていくと、汗ばむ頃に訪問先である六郷地区センターが見えてきた。六郷地区は、3,000世帯、約1万人の住民が暮らす地区である。この地で、平成12年から様々な取り組みを行っているユニークな集団「おやじ倶楽部」を紹介したい。部員は15人、50代から80歳まで在籍している。青少年健全育成市民会議六郷支部支部長の山田さん、元部長の西沢さん、センター長の村松さんからお話を伺った。

青少年健全育成の1つの活動としてスタート

きっかけは、17年ほど前、非行問題が増え、子をもつ親として何かできないかと元PTA役員の父親が主に集まり、地域の子もたちにとって「うるさいおやじになろう」と考えたが、いきなり「おやじ」が中学校に行ったところで「何をすればいいのか」と悩み、まずは小さな子たちとの信頼関係を育もうと幼稚園・小学校に出向いて昔の遊びと親の勉強会「子育てフォーラム」の開催から始めた。フォーラムは、小・中・高生の親を対象に現役世代の意見を聞き出しとりまとめ、教育委員会などへ報告している。会にとっては「自己満足にならないよう、まわりの人たちの意見を聞ける場」となっている。

つい最近の活動は、7月に会員が講師となり「竹の水鉄砲作り教室」を開催。8月20日の「水鉄砲合戦」では、子どもたちはもちろんのこと、童心に戻って走り回る親の姿が



頭上の的(金魚すくいのポイ)めがけて噴射



親の思いを吐き出す場にもなる子育てフォーラム

印象的だったとのこと。話を聞きながら、「おやじ」の皆さんも童心に戻って喜んでおられることが活動の原動力なのではないかと感じた。

活動を振り返り、さらに今後も

そんな活動を続けているうちに、いつしか「おやじ」の年代も上昇。今では、「おやじのおやじ」として、親子を見つめる年代となっている。長く活動が継続しているコツをお伺いすると「部長以外は全員副部長という組織である。活動ごとに得意とする人が中心となり、皆で補佐をする。お互いの特性を熟知していることから、スムーズに進む」との話があった。また、「飲みニケーションを大いに活用」「奥様方の内助の功も必須」と強調されていた。

後継者の課題もあるが「今のメンバーの結束を大事に、体の許す限り活動を続けていきたい」と語る一方、「若い人の感覚でやってもらえれば良いので、おやじの会という名前が無くなっても構わない。今やっていることが参考になれば良いと思っている」と語っていた。

部員の一体感を高めるユニホームも作成し、意欲十分、今後も「おやじ倶楽部」の元気な活動から目が離せない。

◇おやじ倶楽部部長：伊藤彰彦さん

(問合せ・0537-35-3459(六郷地区センター))

【情報提供・村松正一】



レポート：高村 光編集委員

冊子新デザイン記念!.....

特別寄稿 後編

健康的で楽しい コミュニティ活動に参加を

地域デザイン研究所所長・コミ推協推進専門委員
望月誠一郎氏



コミュニティカレッジで指導する望月氏
先日68歳になった

『第二の人生を健康的に 過ごす為の条件』

第二の人生を有意義に過ごす為には、身体と心の健康が大切です。そのためには、右の図に示すとおり、運動・栄養・社会参加が有効であり、緑茶を飲む人ほど長生きできそうです。

静岡県型健康生活の秘訣

毎日の食生活に気をつけ、適度な運動を行い、地域活動に汗を流し、終了後に静岡県産の緑茶を飲みながら、みかんを食べ、楽しく語らうことが出来る「居場所」のある人が、心も身体も健康で長生きする秘訣であると言えます。

コミュニティ活動で 社会参加を

運動と栄養は個人でできることですが、社会参加は一人ではできません。

静岡県コミュニティづくり推進協議会は38年の歴史があり、コミュニティカレッジを卒業した人が約2,200人、そしてその卒業した人達がつくるネットワーク会員が500人いて、子どもの見守り、高齢者サロン、お祭りの活性化、自治会との協働活動、住民交流の場づくりなど、県内各地で活動しています。そのコミュニティ活動の仲間に、気軽に声を掛けてみて下さい。

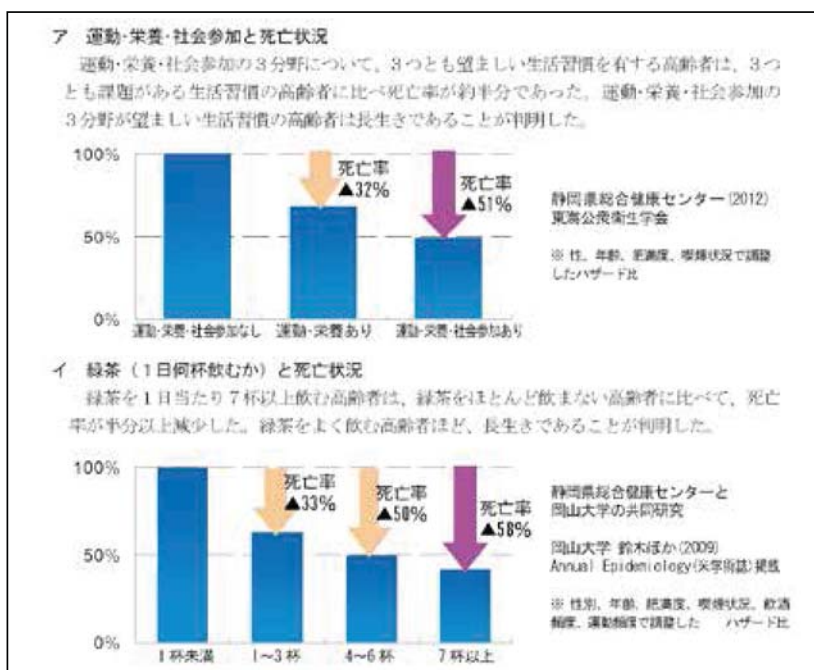
地域コミュニティ活動は、最初から頑張らなくても良いです。できることから協力し、その内、自分の得意分野を見つけたら積極的に行動して下さい。

情けは人のためならず、巡り巡って自分のため

「情けは人のためならず」ということわざがありますが、地域の人のために役立つ活動を気心の知れた仲間と共に汗を流し、楽しい会話をすることなどを通して、地域の中に自分の居場所を見つけられることは、結果として、「世のため、人のため」であると同時に、巡り巡って「自分のため」になるということです。

地域活動は、人にやらされるという感覚ではつまらないです。自らの意志で積極的に取り組めば、やりがいも分かり、楽しくもなります。そして、「自分の時間を自分の意志で活用し、地域貢献できるような人」はとても幸せな人なのだ、と気付くことでしょう。

生活習慣と長寿の要因(静岡県総合健康センター:H11→H14、17、20年)



地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

コミカレ家



★出張コミカレin川根本町 地域づくりについての知識や手法を学ぶ

日 時：10/14 (土) 10/21 (土) 9:30 ~ 16:00
会 場：川根本町山村開発センター 受講料：無料

募集定員：川根本町周辺地域から 30 人

応募条件：2 日間とも出席可能な方

※託児所用意あります。

★プログラムについては、HP をご覧になるか又はお問い合わせください。



★コミカレ修了者アフター研修会と 西部支部研修会を合同で開催

「つながる地域活動 次世代へつなげる地域活動」

地域で活動する団体の活動紹介と語らいの場(参加型分科会)を開催し、地域活動を継続するには、次世代に引き継ぐことは何かを考える。

日 時：11/18 (土) 10:00 ~ 15:30

会 場：ワークピア磐田

参 加 費：無料(昼食希望者 700 円)

※申込み締切 11/2 (木)

★プログラムについては、HP をご覧になるか又はお問い合わせください。

★コミュニティ活動賞

応募の対象と条件

- 1、今日的な生活課題、例えば、地域の活性化、高齢者問題や子育て支援、自然環境の保護・保全などの快適な生活環境整備、青少年の健全育成、ゴミ減量やリサイクル活動、国際交流などのテーマに取り組み、生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて活動しているもの。
- 2、活動(組織)が発足して、2年以上を経過したものとします。
- 3、中学校区の範囲を越えない区域を原則としますが、一定の範囲の地域を基盤とする活動団体であれば対象とします。
- 4、過去5年間(平成24年度以降)にこの「コミュニティ活動賞」で優秀賞、優良賞を受賞された地区集団については、本年度は応募できません。

賞

- 優秀賞……賞楯と記念品
- 優良賞……賞楯と記念品
- 奨励賞……賞状

発 表

平成 29 年 12 月初旬(応募者に直接通知します)



コミカレ終了!

今後の活躍を 期待します!

通算 38 回目となる本年度の「コミュニティカレッジ」が 9 月 23 日に終了しました。

男性 24 人、女性 13 人、計 37 人が修了し、昭和 55 年の第 1 回目からの修了者は、2,236 人となりました。

これからの地域での活動を期待します。



編集・発行

地域情報を
お寄せ下さい!

静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階 [TEL] 054-251-3585 [FAX] 054-250-8681
[URL] <http://www.sizcom.jp> [E-mail] sizucom0829@po.across.or.jp